



## THE INTERNATIONAL CONFERENCE ON SUSTAINABLE AGRICULTURE FOR FOOD, ENERGY AND INDUSTRY 2008のご案内

代表：北海道大学大学院農学研究院 大崎 満（教授）

近代農業は、資源（石油、肥料、農薬、水）を多量に投与し、大型機械を投入して発展を遂げました。その一方で、森林破壊や陸水系の汚染・劣化をもたらし、化石燃料の枯渇と地球温暖化により、近代農業が曲がり角にあります。今後、持続可能な農業（生物生産）を支えるために、農林学、土壤生化学、生態学、動植物の病理学、数理学、気象学、機械・電気工学、情報工学、経済学、社会科学などの知識を統合した新たな先端的分析技法研究システムが重要となります。

そこで、THE INTERNATIONAL CONFERENCE ON SUSTAINABLE AGRICULTURE FOR FOOD, ENERGY AND INDUSTRY 2008と題して、北海道大学にて、国際会議を開催し、農業・生物生産分野における上記の専門家や研究者と情報交換・持続的な生物生産システム構築の議論・国際社会に向けたアジェンダの発信をいたします。

日時：2008年7月2日～6日

場所：北海道大学学术交流会館 大講堂

主たる議題：

- 「Land and Water Management」
- 「Plant Interactions/Interfaces」
- 「Germplasm Conservation and Use」
- 「Integrated farming and Bio-energy」
- 「“Mottainai”—Reduce, Reuse, Recycle and Refuse (The 4 R’s)—」
- 「Agro-ecology and Bio-organic Farming」
- 「Global Climate Change on Productivity and Ecosystem」
- 「Governance on Agro-ecosystem and Tradeoff in Development」
- 「International cooperation in research and development」

「“Satoyama”—Human and Nature Interrelationship—」

主催：北海道大学サステイナビリティ・ガバナンス・プロジェクト（SGP）。

共催：北海道大学、サステイナビリティ学連携研究機構（IR3S）、International Council for Sustainable Agriculture（ICSA）、酪農学園大学。

後援：北海道大学大学院農学研究院、

International Foundation for Sustainable Development in Africa and Asia（IFS-DAA）。

Internationales Forschungszentrum für Erneuerbare Energien e.V. Deutschland（IFEED）。

National Agricultural Research Center for Hokkaido Region, NARO。

International Council, Society for Sustainable Agriculture and Resource Management（ICSSARM）。

Global Land Project（GLP）。

国際協力機構（JICA）、（社）札幌農学振興会。

ホームページ：

<http://www.sgp.hokudai.ac.jp/ICSA2008/>

参加申込み：上記HPより。

（2008年2月よりHP上にて参加受付予定）

問い合わせ：北海道大学サステイナビリティ・ガバナンス・プロジェクト（SGP）。

E-mail：icsa2008@sgp.hokudai.ac.jp

Fax：011-706-4534